

LIxil エコリス 緑化ベース

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<設計時の注意>



注意

- 駐車スペースのみの使用としてください。タイヤのスエギリや切り返しを行う駐車スペースの前面や通路(共通進入路等)および縦列駐車スペースは使用を避け、アスファルト等で施工してください。
- 凍上の可能性のある地域では碎石層を300mm以上設けてください。
- 耐荷重10t車以下(総重量20t以下)です。
- 駐車頻度が多いと芝生の育成量が減少し、裸地化が見られる場合がありますのでご注意ください。
- カーポート下など、紫外線がカットされる場所では、芝生が枯れる場合があります。
- 車両進入部は、芝生の擦り切れが発生しやすい場所です。コンクリート、アスファルト等で設計することをおすすめします。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

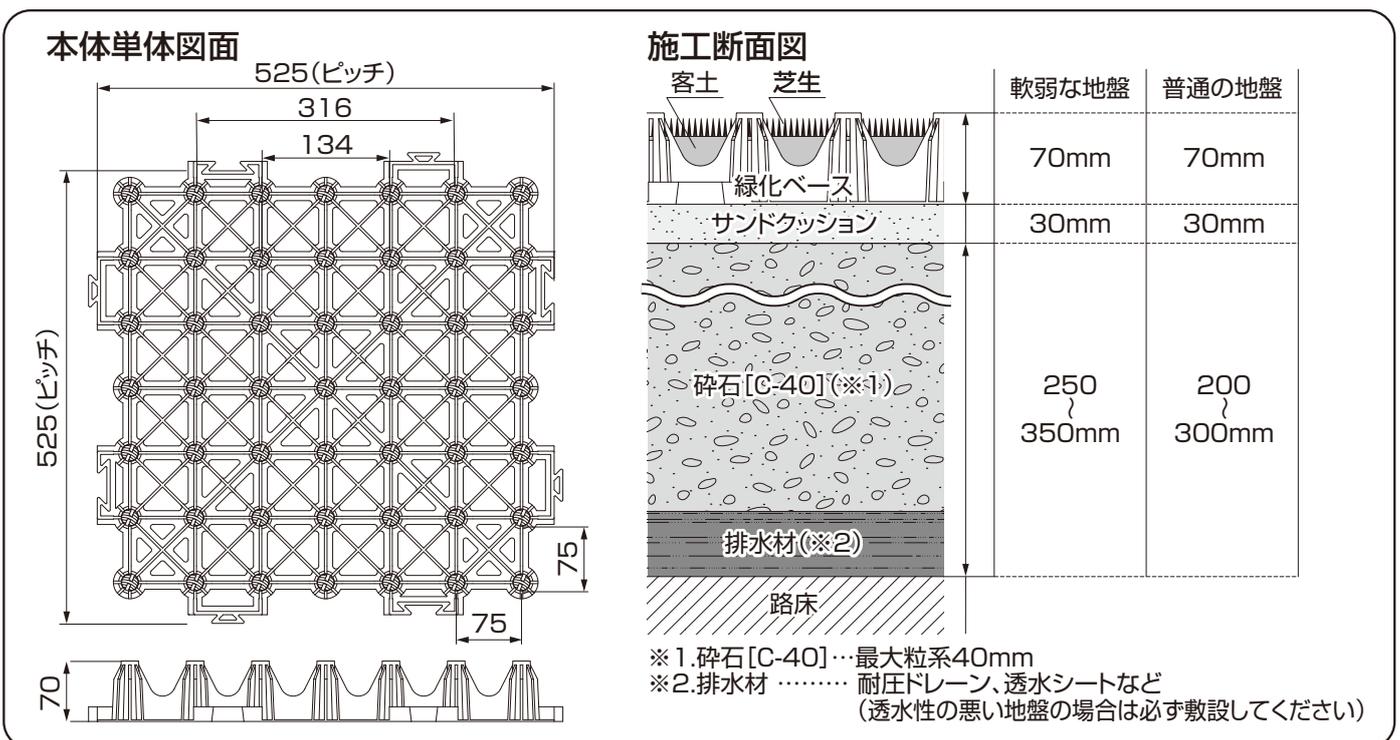
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、機能が低下する場合があります。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 路床転圧はアスコン舗装よりも、しっかりと行ってください。
- 播種の場合は、緑化ベース頂部よりも高く客土を入れ、転圧を行ってください。
- 凍上の可能性のある地域では碎石層を300mm以上入れてください。
- 芝生を張った後の転圧は緑化ベース頂部が露出するまでしっかりと行ってください。
- 施工中および芝生養生中は緑化ベースの上部には工事用車両などを走行させないでください。

■ 梱包明細表

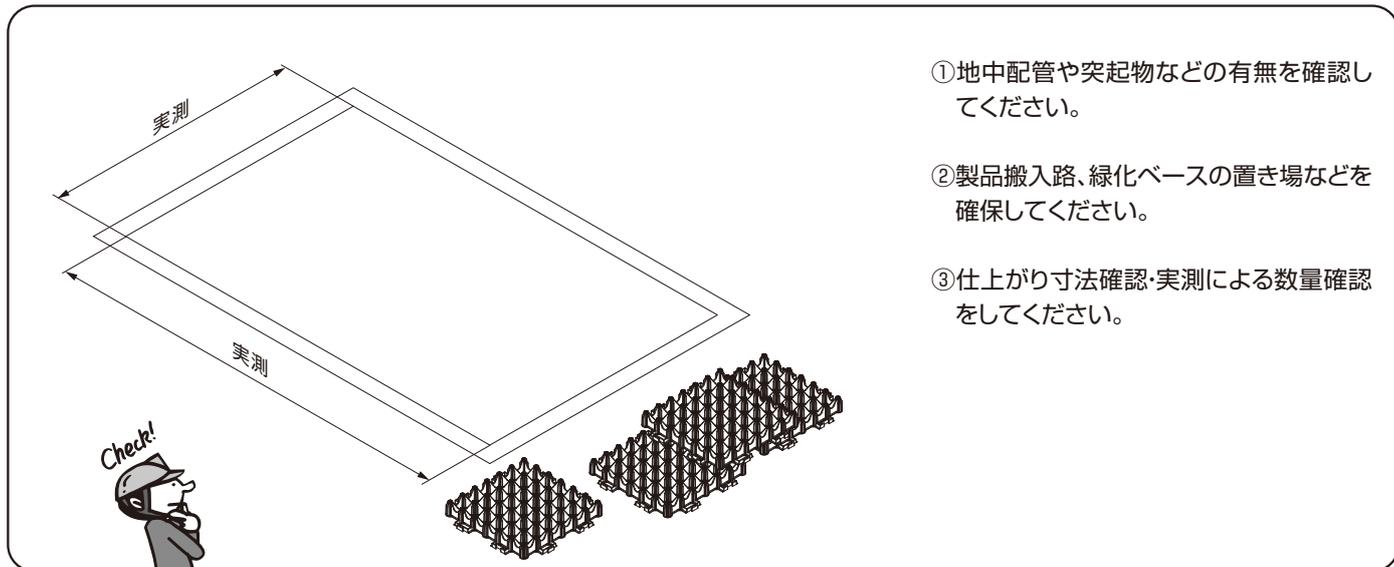
【1】 緑化ベース

| 名 称 | 略 図 | 員 数 |
|--------------|---|-----|
| 緑化ベース |  | 4 |
| 取付説明書<G030> | — | 1 |
| 取扱説明書<UG006> | — | 1 |

1. 寸法図



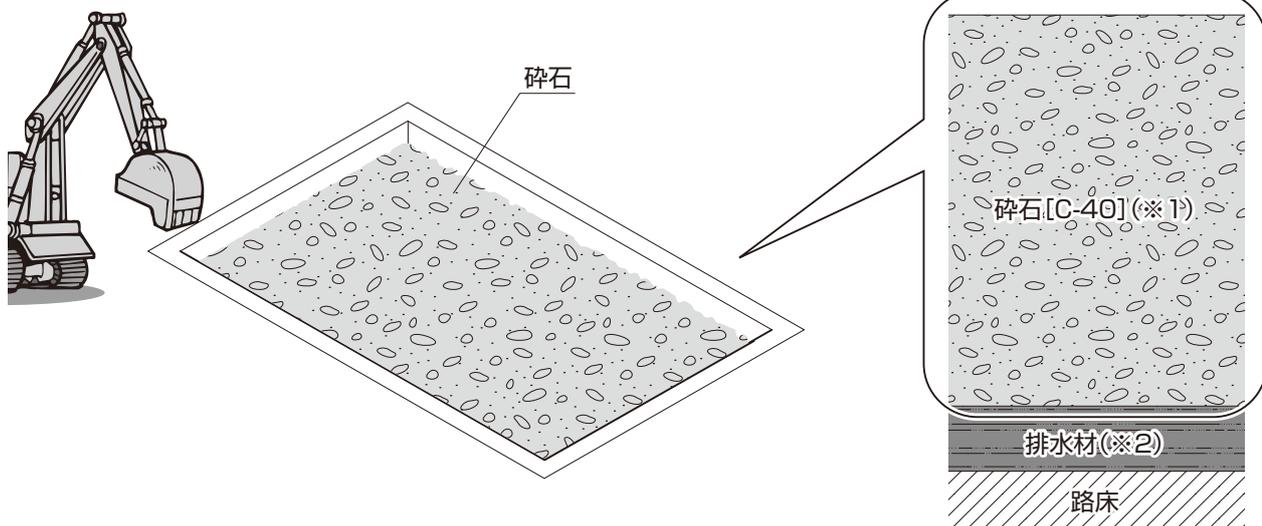
2. 施工場所の確認



3. 緑化ベースの施工

3-1 堀削・碎石搬入・転圧仕上げ

- ① 1.寸法図を参考に、堀削・碎石搬入・転圧仕上げを行ってください。



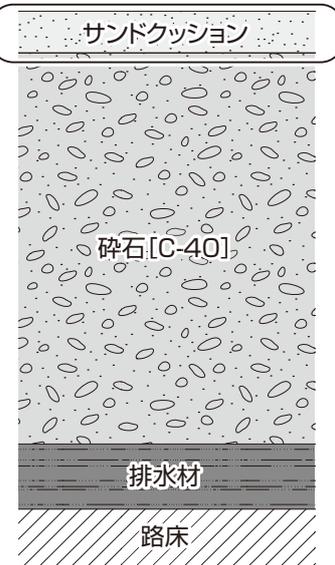
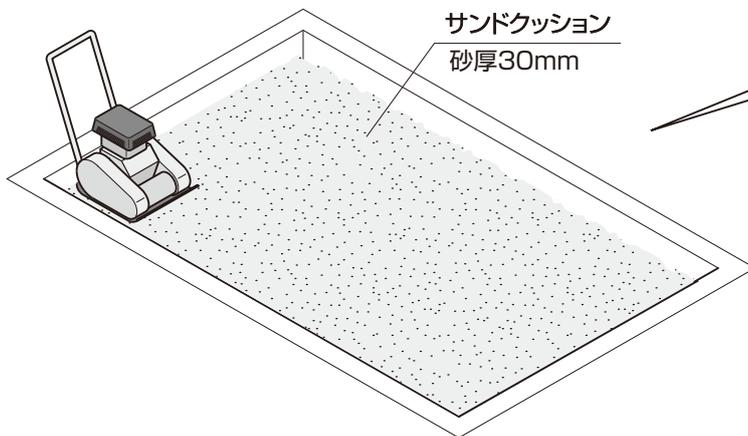
ポイント

- 必ず転圧仕上げをしてください。
- 碎石はC-40(最大粒系40mm)を使用してください。(※1)
- 透水性の悪い地盤の場合は碎石搬入の前に排水材を敷設してください。(※2)

3. (つづき)

3-2 サンドクッション・敷き均し・転圧仕上げ

① 碎石の上にサンドクッションを敷設し、
転圧仕上げ(不陸調整)をしてください。

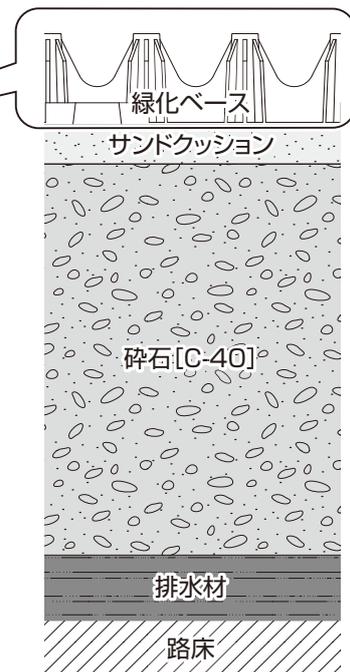
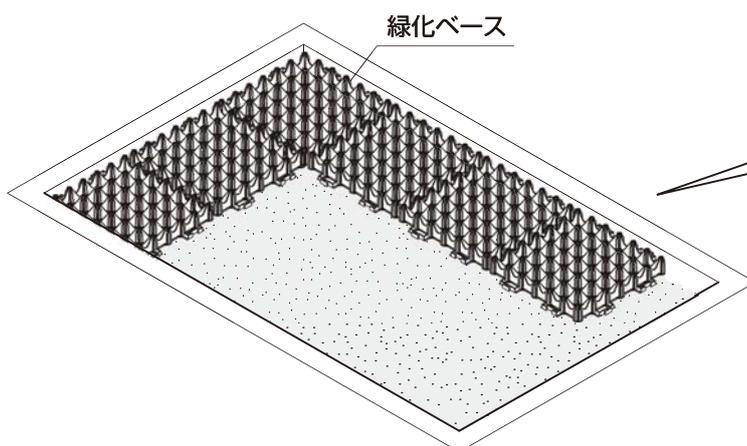


ポイント

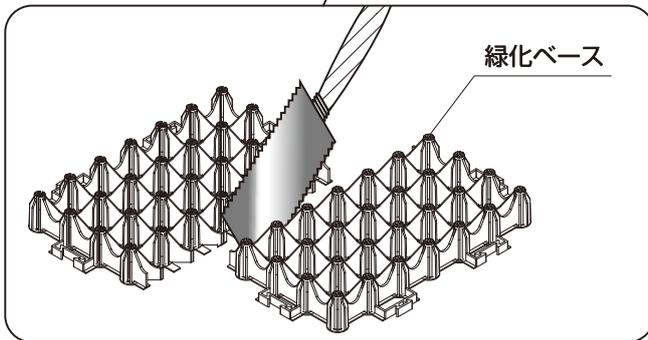
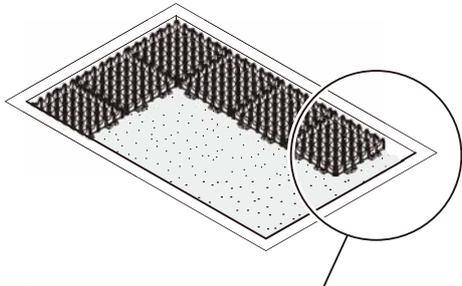
- 砂厚30mm
- 必ず転圧仕上げをしてください。

3-3 緑化ベース敷設

① 緑化ベースを敷設してください(どちらの
方向からも敷合できます)。

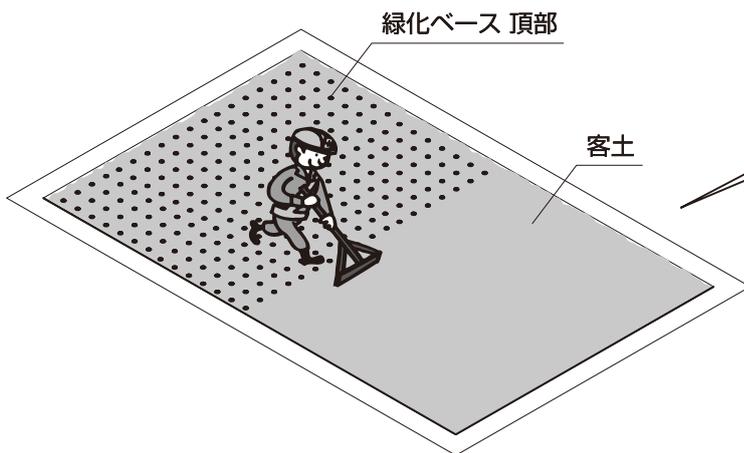


3-4 緑化ベースのサイズ調整

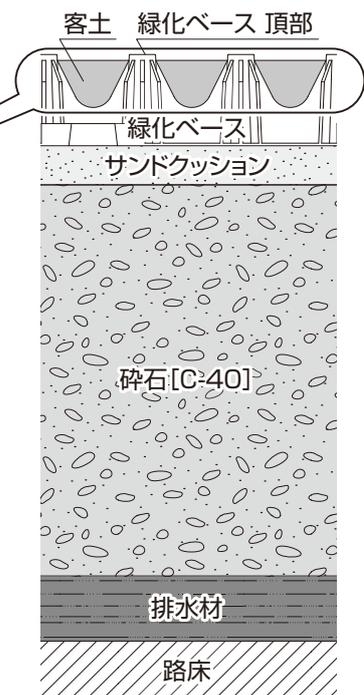


①ノコギリなどを使用して、緑化ベースを切断し、寸法調整をしてください。

3-5 客土入れ

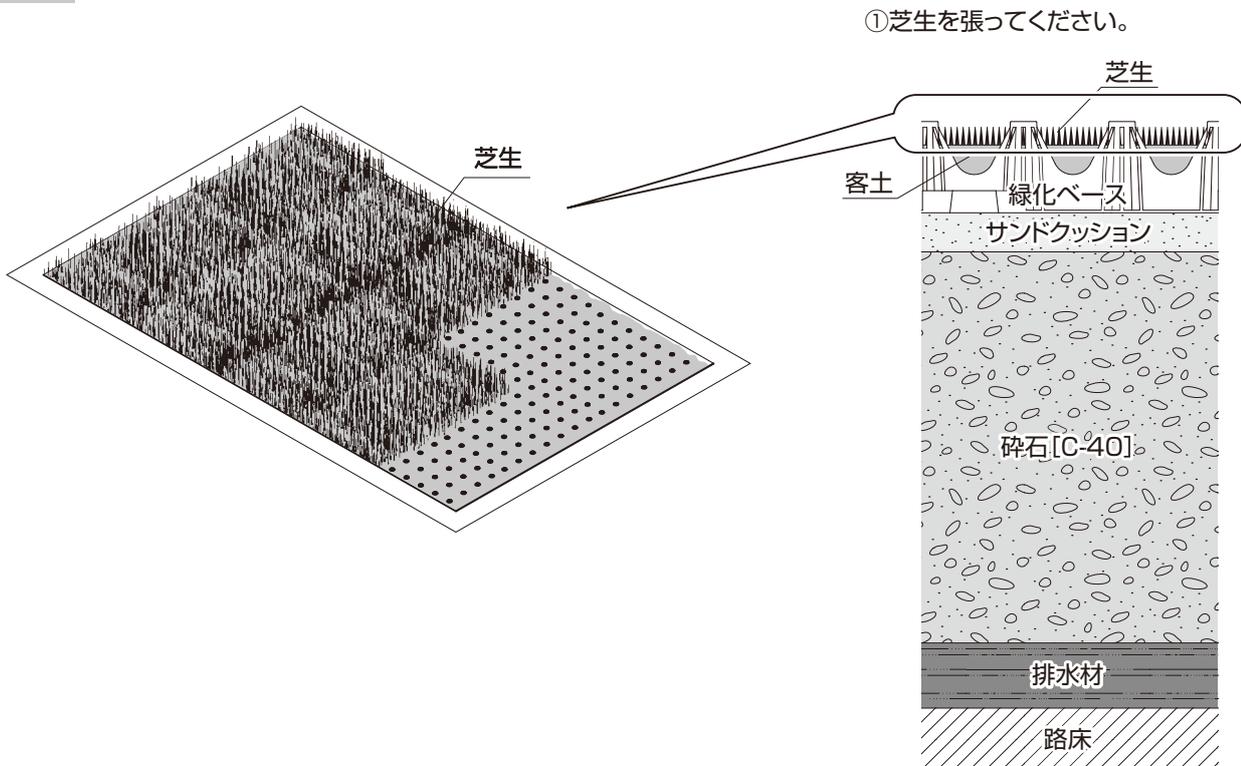


①客土を投入し、敷き均します。
トンボなどにより、緑化ベース頂部とほぼ
同じ高さにします。機械施工は不可です。

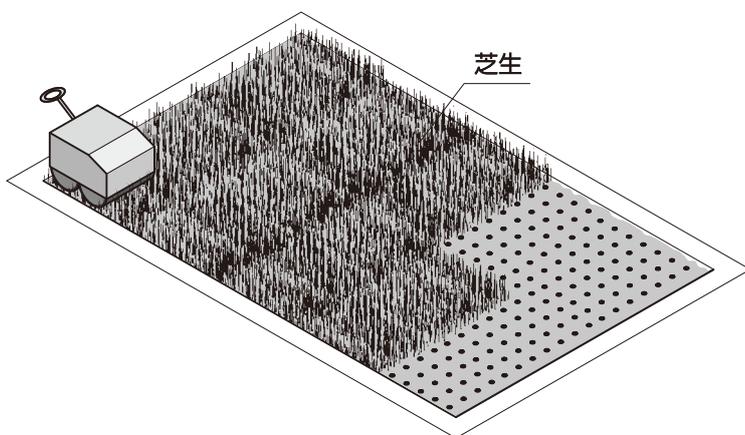


3. (つづき)

3-6 芝生張り



3-7 転圧

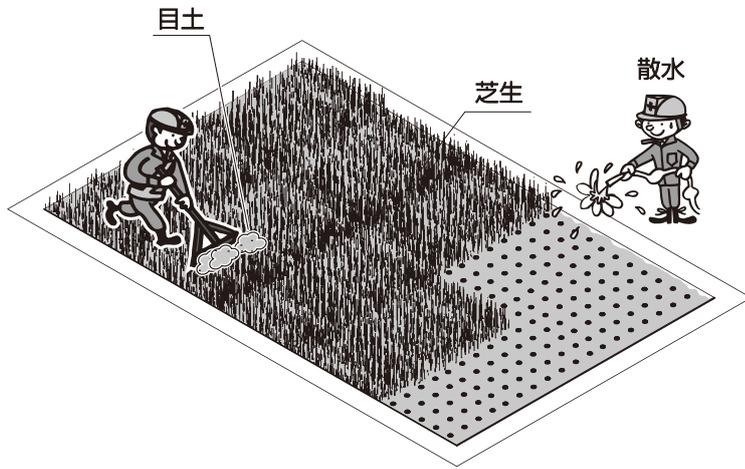


①振動ローラーで緑化ベース頂部が露出するまで転圧してください。

ポイント

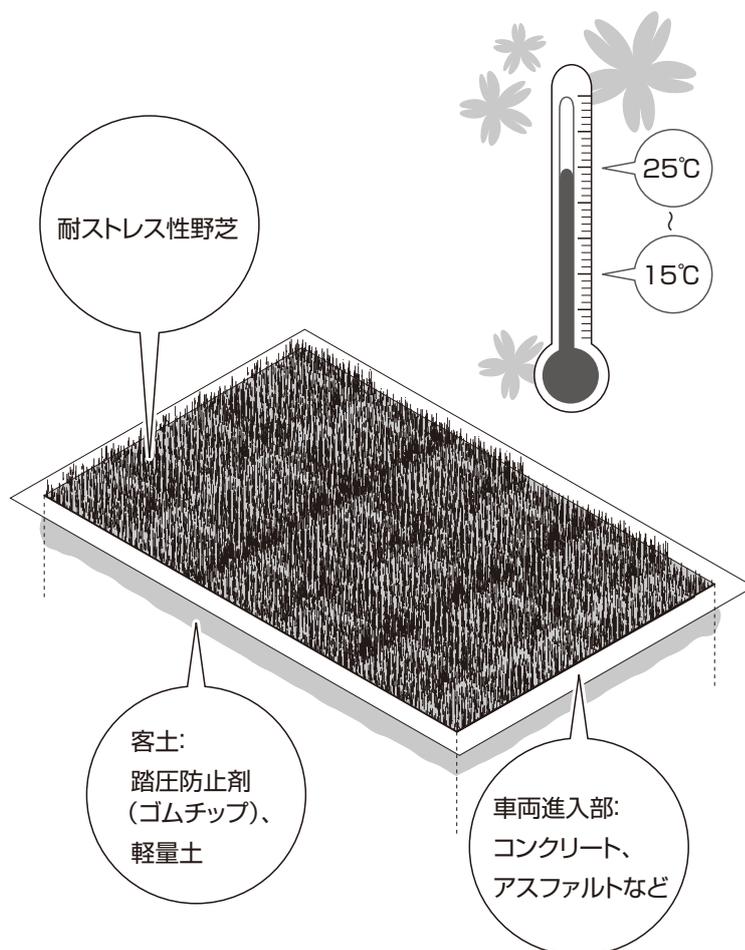
- 散水しながら転圧すると作業しやすいです。

3-8 目土・散水



①散水・目土をしてください。

4. 緑化維持のために



●施工時期は芝生の育成に適する春(気温15~25℃)をおすすめします。

●耐ストレス性野芝をご使用いただくと緑化持続性が高まります。

●踏圧防止剤(ゴムチップ)や軽量土を客土に配合することにより、客土の硬化を軽減できます。

●車両進入部は、芝生の擦り切れが発生しやすい場所です。コンクリート、アスファルトなどで施工することをおすすめします。

取説コード

G030

JZZ620278C
201001A_1041
201607D_1048